

英語ライティングA Writing A

薬：K2-05111MY、生命：K2-05111MS

素養科目 1、2、3 (薬)年／前期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A・C組：柳澤 彩華(非常勤講師)、B組：刑部 昂(非常勤講師)、S組：竹村 哲明(非常勤講師)

■教育目的 (各クラス共通)

日常的な手紙や E-mail の書き方から論文の構成まで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標 (各クラス共通)

1. 口語的な英語の表現方法を習得することにより、手紙や E-mail など円滑なコミュニケーションを図る方法を身につける。(知識、技能)
2. 英語の文章構成の技法を理解することにより、効果的なプレゼンテーションの方法を身につける。(知識、技能)

■授業内容

A・C組 柳澤 彩華(非常勤講師)

英語のパラグラフ・ライティングを基礎から学習し、自分の考えを論理的にまとめて他者に伝えるライティングの練習を重ねていきます。教科書に載っている英語の例文を参照するにあたり、語彙や文法の知識も確認していきます。授業内あるいは授業後に取りくむライティング課題は添削して返却しますので、推敲を重ねて自分の英文を良いものにしていきましょう。また、ペアワークなどで他の人と文章を添削し合う機会もあります。毎回必ず辞書を持参してください。

[No.1] イントロダクション

[No.2] Unit1&2

[No.3] Unit3&4

[No.4] The Process of Paragraph Writing

[No.5] Unit5 説明、ライティング

[No.6] Unit5 ピアレビュー

[No.7] Unit7 説明、ライティング

[No.8] Unit7 ピアレビュー

[No.9] 中間ライティング

[No.10] Unit9 説明、ライティング

[No.11] Unit9 ピアレビュー

[No.12] Unit11 説明、ライティング

[No.13] Unit11 ピアレビュー

[No.14] アドバンスト・ライティング

[No.15] 復習

準備学習 (予習・復習)：予習は、辞書を使いながら教科書に目を通してください(20分)。復習は、授業内容の見直しに加えて、課題が出た週はその課題に取り組んでください(20-30分)。また、返却された課題のフィードバックを確認し、自分で改善すること。

授業形態：課題解決型学習、グループワーク、双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法：課題のフィードバック及び成績評価方法：課題は、添削のうえフィードバックします。成績は、課題・授業内活動 50%、期末試験 50%で総合評価します。

教科書：『Writing Facilitator: Introduction to Paragraph Writing Revised Edition 構造から学べるパラグラフ・ライティング入門【改訂版】』静哲人著(松柏社)

その他：メールアドレスは yanagisawa@my-pharm.ac.jp です。質問や欠席・遅刻連絡などがあれば対応します。

B組 刑部 昂(非常勤講師)

教科書ではさまざまな構文の書き方を学び、英語で文章を書く基礎を培います。それと並行して、教員が用意するパラグラフ教材を通して、英語で文章を組み立てるために必要な知識を身につけていきます。本授業における最終的な目標は、大きなパラグラフを自分で書けるようになることです。その実践練習として、適宜ライティング課題を行ってもらいます。毎回辞書を持参してください。

[No.1] lesson 1-2

[No.2] lesson 3-4

[No.3] lesson 5-6

[No.4] パラグラフの書き方。課題 1 (与えられたテーマに沿って 150words 程度のパラグラフを書いてもらいます)。

[No.5] lesson 7-8

[No.6] 課題 1 のフィードバックとそれを踏まえたリライト。

[No.7] lesson 9-10

[No.8] lesson 11-12

[No.9] lesson 13-14

[No.10] 課題 2 (与えられたテーマに沿って 200words 程度のパラグラフを書いてもらいます)。

[No.11] lesson 15-16

[No.12] 課題 2 のフィードバックとそれを踏まえたリライト。

[No.13] lesson 17-18

[No.14] lesson 19-20

[No.15] まとめ

準備学習 (予習・復習) : 予習: 辞書を用いつつ教科書の英文に目を通しておくこと。

復習: 与えられたライティング課題を行うこと。また返却されたライティング課題のフィードバックを確認し、リヴァイズすること。

授業形態 : ディスカッション・ディベート、双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法 : 課題には添削のフィードバックを行います。

成績は、課題 60%、期末試験 40 %で評価します。

教科書 : 『How to Rephrase』、小中秀彦著 (南雲堂) (ISBN : 978-4-523-17801-9)

S 組 竹村 哲明 (非常勤講師)

「自己 PR」や「論文執筆」など、いずれのキャリアパスでも求められることになる「読み書き能力」の習熟を期します。現代日本語にも関わっている「パラグラフ」を理解し、それを用いて自己の意見を適切に表現できるようになることが目標です。各回とも「最近はやりのいまいちよくわからないカタカナ語」に着目し、その語本来の意味と日常生活における問題や課題について知り、各テーマに従って自己の意見を作文し提出してもらう、という流れになります。文法・単語の機械的な暗記ではない言語運用能力の総合的な底上げを、理論ではなく実践から図ります。

[No.1] Introduction

[No.2] “paragraph”

[No.3] “gender”

[No.4] “harassment”

[No.5] “lookism”

[No.6] “identity”

[No.7] “expression”

[No.8] “monster”

[No.9] “self”

[No.10] “life”

[No.11] “art”

[No.12] “zero”

[No.13] “university”

[No.14-15] Review

準備学習 (予習・復習) : 予習: 返却物の添削およびコメントの確認 (60 分)

復習: 課題の執筆 (60 分)

提出期日など課題の詳細は初回にとりきめ、変更があれば MyCast 上でお知らせします。

授業形態 : 課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、双方向型授業、講義

課題 (レポート、試験等) のフィードバック及び成績評価方法 : 課題: 添削して返却または全体で講評します。

成績: 授業内活動 (20 %)、提出物 (計 50 %)、期末試験 (30 %) を目安にします。

教科書 : 配布物はすべて教員が用意するので、履修者がなにか購入する必要はありません。参考文献は随時指摘します。

参考書 : 『Academic Writing: A Handbook for International Students』Stephen Bailey (Routledge)

その他 : 質問・相談などがあればメールしてください。授業後にも対応します。